

聖フィリッポ西坂教会(指定番号:第22号)



- 名称 : 聖フィリッポ西坂教会
- 指定番号 : 第22号
- 指定日 : 平成31年3月8日
- 所在地 : 長崎市西坂町 123-1
- 概要 : 鉄筋コンクリート造 4階建て
- 建造年 : 昭和37年
- 指定理由 :

当該建造物は、日本二十六聖人記念館と同じ年に県指定史跡の隣接に建築された鉄筋コンクリート造、4 階建ての建築物で、設計は建築家 今井兼次によるものである。設計者は、設計を通じて、カトリック建築家ガウディの精神の内面的なものの実証に取り組み、ガウディが成し遂げたモザイク芸術や、建築での生命感を表現しようとした。

建物本体の両側には、殉教精神を表すために殉教者を賛美する天使の翼を象徴した双塔が力強くそびえ立っている。

正面向かって左側の塔は、祈りと賛美の塔で聖母マリアを象徴している。人々の祈りが天のキリストへ伝わることを願い、

「SANCTUS SANCTUS SANCTUS(聖なる哉)」の三連誦が塔身に刻まれ、モザイクの色彩も白を主調としながら、赤、緑、紫、白、淡紅、黒などの濃淡による十字、星、波動線が表現

されており、塔頂の黄金色の部分は金属製の「神の勝利の王冠」を中央に刻み、その周辺に聖母マリアの象徴である十二の星が環状に輝いている。

また、右側の塔は、神からの恵みが下ってくる塔で聖霊の賜物を象徴している。塔頂は聖霊のシンボルである 7 つの焰(ほのお)の舌に包まれた射光輪中に下降の姿勢で描かれた聖霊鳩と、殉教者のシンボルである赤色のモザイクで彩られ、塔頂から三位一体の三枝を貫き、典礼色の赤色を織り交ぜながら、

「VENI SANCTE SPIRITUS(聖霊来たり給え)」の祈りの文字が刻まれており、塔身は強い躍動感が表現されている。

以上のとおり、日本の歴史上非常に重要な場所であるこの西坂の地において、その独特な歴史を考慮したデザインが施されている貴重な建造物である。

